

三重県観光誘客推進本部の概要図

大阪・関西万博の開催、リニア東京・名古屋間の開通、第63神宮式年遷宮等を見据え、本県への誘客や長期滞在を促進するために、官民が一体となり三重の魅力あるコンテンツを磨き上げ、国内外に強力に発信するための事業連携や情報共有を図る。

三重県観光誘客推進本部

◇組織

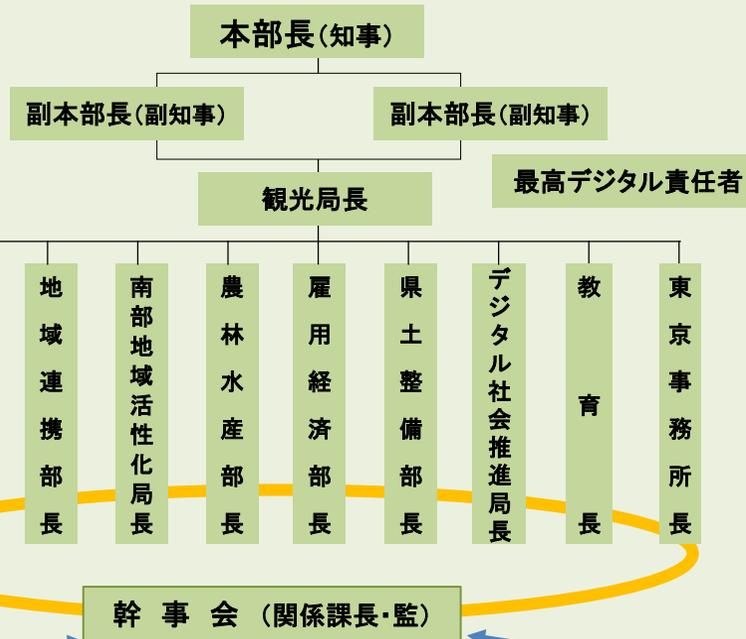
知事を本部長とし、副本部長に両副知事、最高デジタル責任者、関係部局長を本部員として構成
(事務局：観光局)

◇基本理念

持続可能な三重県観光の推進

◇検討項目

- 長期滞在に適した三重ならではのコンテンツやサービスの磨き上げ
- 三重を訪れる旅行者情報に基づく観光マーケティングの推進
- 三重への誘客につなげるための戦略的な観光プロモーションの強化
- 旅行者にやさしい三重の受入れ環境の整備



JNTO

※連携項目

- ▶海外へのプロモーション強化
- ▶海外から三重県への誘客促進 等

大阪・関西万博推進本部

※連携項目

- ▶三重が世界に誇るコンテンツの発信
- ▶大阪から三重県への誘客促進 等

港湾みらい共創本部

※連携項目

- ▶港湾を利用した観光活性化 等

市町・観光協会・DMO

- ▶観光施策、取組について情報共有

連携

コンテンツ分野(地域資源)

- ◆新たな地域資源の掘り起こし(歴史・文化、食、体験等)
- ◆既存資源の磨き上げ(資源の高付加価値化)
- ◆魅力ある地域資源を生かした周遊ルート作成、商品化・販売促進
- ◆三重の食材を用いた美食旅の推進
- ◆JNTOと連携したコンテンツの評価
- ◆地域住民の参画、意見の反映

【関係者】

県、コンテンツ造成事業者、市町、観光協会、DMO

(事務担当)観光資源課、海外誘客課

マーケティング分野

- ◆三重県観光マーケティングプラットフォームの活用(旅行者データの収集、旅行者ニーズにあわせた情報発信)
- ◆データ分析による観光マーケティングの推進
- ◆観光分野における更なるDXの推進(人材育成など)

【関係者】

県、観光関連事業者、市町、観光協会、DMO、三重県観光連盟

(事務担当)観光政策課、観光誘客推進課

プロモーション分野(情報発信)

- ◆首都圏等大都市圏でのプロモーション強化(駅、商業施設等)
- ◆来訪者に対する的確な情報発信(観光DX、観光案内所等)
- ◆メディアやSNS等を活用した国内外への発信強化
- ◆JNTOと連携した海外への情報発信の強化

【関係者】

県、交通事業者、市町、観光協会、DMO、三重県観光連盟

(事務担当)観光誘客推進課、海外誘客課

受入れ環境整備分野

- ◆宿泊施設等受入れ環境整備(施設改修、多言語案内機能の強化等)
- ◆高付加価値旅行者層向けの上質な宿泊施設の誘致・整備促進
- ◆観光地の景観改善に向けた廃業した旅館や空き店舗等の撤去
- ◆観光人材の育成(宿泊施設、観光施設、案内所等)
- ◆二次交通の充実(バス、タクシー等)
- ◆次世代モビリティの活用
- ◆「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」の活用促進

【関係者】

県、宿泊事業者、交通事業者、市町、観光協会、DMO

(事務担当)観光政策課、海外誘客課

三重県観光誘客推進本部について

設置趣旨

大阪・関西万博の開催、リニア東京・名古屋間の開通、第63回神宮式年遷宮等を見据えた本県への誘客や長期滞在の促進に向け、官民が一体となり三重の魅力あるコンテンツを磨き上げ、国内外に強力に発信するための事業連携や情報共有を図るため、三重県観光誘客推進本部を設置する。

組織

知事を本部長とし、副本部長に両副知事、本部員に最高デジタル責任者、関係部局長で構成する。

- ◎本部長 : 知事
- 副本部長 : 両副知事
- 本部員 : 最高デジタル責任者、総務部長、環境生活部長、地域連携部長、南部地域活性化局長、農林水産部長、雇用経済部長、県土整備部長、デジタル社会推進局長、教育長、東京事務所長、観光局長
- ・事務局 : 観光局観光政策課

推進会議に付すべき事案の検討・立案、全庁的な調整のため、推進本部に幹事会を置く。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ○幹事長: 観光局 次長 | |
| ○幹事 : 総務部 総務課長 | デジタル社会推進局 デジタル事業推進課長 |
| 環境生活部 文化振興課長 | 教育委員会 社会教育・文化財保護課長 |
| 地域連携部 交通政策課長 | 東京事務所 副所長 |
| 南部地域活性化局 東紀州振興課長 | 関西事務所 副所長 |
| 農林水産部 農林水産政策・輸出促進監 | 観光局 観光資源課長 |
| 農林水産部 農山漁村づくり課長 | 観光局 観光誘客推進課長 |
| 農林水産部 みどり共生推進課長 | 観光局 海外誘客課長 |
| 雇用経済部 県産品振興課長 | 観光局 MICE誘致推進監 |
| 雇用経済部 企業誘致推進課長 | 観光局 観光政策課長 |
| 県土整備部 建設企画監 | |

主な検討項目について

以下の4つの分野で検討を進める。

コンテンツ分野

【長期滞在に適した三重ならではのコンテンツやサービスの磨き上げ】

(主な検討内容)

- 新たな地域資源の掘り起こし(歴史・文化、食、体験等)
- 既存資源の磨き上げ(資源の高付加価値化)
- 魅力ある地域資源を生かした周遊ルート作成、商品化・販売促進
- 三重の食材を用いた美食旅の推進
- JNTOと連携したコンテンツの評価
- 地域住民の参画、意見の反映

マーケティング分野

【三重を訪れる旅行者情報に基づく観光マーケティングの推進】

(主な検討内容)

- 三重県観光マーケティングプラットフォームの活用
(旅行者データの収集、旅行者ニーズにあわせた情報発信)
- データ分析による観光マーケティングの推進
- 観光分野における更なるDXの推進(人材育成など)

プロモーション分野

【三重への誘客につなげるための戦略的な観光プロモーションの強化】

(主な検討内容)

- 首都圏等大都市圏でのプロモーション強化(駅、商業施設等)
- 来訪者に対する的確な情報発信(観光DX、観光案内所等)
- メディアやSNS等を活用した国内外への発信強化
- JNTOと連携した海外への情報発信の強化

受入れ環境整備分野

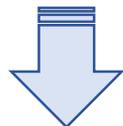
【旅行者にやさしい三重の受入れ環境の整備】

(主な検討内容)

- 宿泊施設等受入れ環境整備(施設改修、多言語案内機能の強化等)
- 高付加価値旅行者層向けの上質な宿泊施設の誘致・整備促進
- 観光地の景観改善に向けた廃業した旅館や空き店舗等の撤去
- 観光人材の育成(宿泊施設、観光施設、案内所等)
- 二次交通の充実(バス、タクシー等)
- 次世代モビリティの活用
- 「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」の活用促進

※取組の進捗に応じ、検討内容を適宜見直し

今後の進め方について



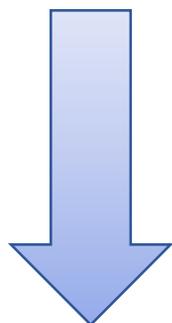
- (4月)
 - ・持続可能な観光地づくりにかかる先進地調査 ※以降も調査を継続
- (5月)
 - ・市町、商工団体、観光団体との意見交換会(県内5地域、53団体参加)

令和4年6月3日

第1回 観光誘客推進本部開催

(議題)

- ✓ 設置趣旨、検討項目、今後の進め方



- ・各分野における課題整理と対応検討
- ・市町、観光協会、DMOとの意見調整

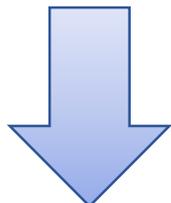
- (6月～7月)
 - ・外国人観光客の受入れ再開に向けてのインバウンドWGの設置
 - ・各分野・幹事の検討項目にかかる情報収集とデータ分析
- (8月～9月)
 - ・各分野・幹事における課題整理と対策検討

令和4年10月(予定)

第2回 観光誘客推進本部開催

(議題)

- ✓ 課題整理のまとめと今後の対応について



- ・部局が連携しての取組実施
- ・市町、観光協会、DMOと連携しての取組実施

令和5年3月(予定)

第3回 観光誘客推進本部開催

(議題)

- ✓ 令和4年度の取組結果について
- ✓ 令和5年度の取組の方向性について